



農業に本気です!

高校生たちの

「アニマドーレ」

2016年12月、札幌市の地下歩行空間で開催された「アニマドーレ報告会」。発表者は市立札幌開成中等教育学校と市立札幌大通高等学校の生徒たち。1年を通して体験した「農業」について、実感のこもった意見が次々と飛び出しました。

では、「アニマドーレ」とは何でしょうか?「イタリアには、アニマトーレ(元気にする人)と呼ばれる食育の専門家がいます。北海道にも生産者と消費者をつなぐ食育のプログラムが必要と考え、北海道と動詞のD.Oを加えた「アニマドーレ」を考案しました」と話すのはリーダーの平島美紀江さん。プロジェクトでは、子どもたちへの食育活動も行っていますが、同時に、未来のアニマドーレ育成につながる「高校生プログラム」を実践中です。

プログラムのメインは2日間の農業体験です。13時間に及ぶリアルな農作業を体験し、その経験を生かして、さらに



画像提供:
アニマドーレプロジェクト

アニマドーレプロジェクト [札幌市]

TEL 011-671-9300 (LLCのごたべ)
|http://animadore.net/

農業を学ぶ1泊2日のファームインコース、販売コース、商品開発コース、調理コース、広報コースに分かれ、消費者に届くまでの行程を学びます。「地道な作業を繰り返す中で、働くこと、生きることを考えてほしい」と、協力農家の余湖智さん(恵庭市)。実際に高校生の発表では、「将来の視野が広がった」「仕事への意識が変わった」という声も。

プロジェクトに参加して2年目の札幌開成では、今年から単位認定の授業に。担当の黒井憲先生は「農と食に関わるプロの人たちと一緒に教育プログラムを作るので、今までにない学びの場を得ることができ、今まではなかった」と話しています。

北海道の農と食を元気づける「未来のアニマドーレ」たちは、今年も学校から畑へ飛び出していきます。

季節の行事を彩る、 花咲く「かたこもち」

たんぼぼ会「上ノ国町」

花の模様がくつきりと浮かび上がったもち菓子。道南地域に伝わる「かたこもち」は、型で模様をつけることが名前の由来。小正月、節句、お盆、お彼岸と、行事に欠かせないお菓子です。

たんぼぼ会は、「かたこもち」などの加工販売に取り組み農家女性グループ。仲間6人で保存食やお菓子を作っていたところ、「売ってほしい」という声が高まり2002年に製造許可を取得。町の施設を借りて加工場に、本格的な活動を始めたそうです。

「みんな農作業もあるので、注文が多い時は朝4時に集まって作ることもありです。それでも『おいしいからまたお願い』と言われるとうれしくて、続いているんですよ」と、代表の久末千恵子さん。

たんぼぼ会の「かたこもち」は、うるち米ともち米をひと晩水に漬けてから粉にしています。こうすると、水分が米にほどよく含み、柔らかさが長もちするのだとか。また、1個1個に笹をしき、ラップで包むのもたんぼぼ会ならではの「くつきか

ず、お供えしやすいように」という気配りのアイデアです。「地元の山で一年分の笹の葉を取る作業も6人一緒と、笑うのみさん。

和気あいあいとおしゃべりをしながらも、手は休むことがなく、次々ときれいなもちが完成。飾って楽しい食卓の賑わい、手づくりの味。いつまでもほほほい、ふるさとのお菓子です。

「かたこもち」

東北地方の「くじらもち」が、北前船で海をわたり、北海道で広まったのが「かたこもち」と言われています。もちとした食感と、黒砂糖のほろ苦い甘さが特徴。味とともに型も受け継がれ、古いものでは100年前の型もあります。

たんぼぼ会の「かたこもち」は道の駅でも販売中!
道の駅上ノ国もんじゅ
|上ノ国町字原歌3番地
|TEL 0139-55-3955
たんぼぼ会
(代表 久末千恵子)
|TEL 0139-55-2263





3 白老町 天野ファミリーファーム
 牧場直営ならではの、
 白老牛を丸ごと味わえます。

道央自動車道白老インターから2.5kmほどの場所に、牧場直営の白老牛炭火焼きレストラン「天野ファミリーファーム」があります。白老牛の育成では、大麦や小麦などの穀類を多く食べさせることで内臓に負担をかけず、肉の旨味を出すことにこだわっています。その丹精込めて育てた牛を一頭丸ごと使用して

いるので、ふだん食べることができない希少な部位もご提供。売店ではハンバーグ、ジャーキー、牛肉のソーセージなども販売しています。レストラン横のナチュラルガーデンには、ハーブやミニバラとともに、ウサギ、ヤギなどの小動物もいますので癒しの時間もお楽しみください。

住所 〒059-0900
 白老郡白老町宇白老
 766-126
 TEL 0144-82-5493
 FAX 0144-82-5493



●体験内容/白老牛・加工品の直売・炭火焼肉
<http://www.dreamsite.ne.jp/user/amano/>



4 弟子屈町 渡辺体験牧場
 絶好のロケーションの中で、
 酪農の魅力を感じられます。

阿寒国立公園に隣接する「渡辺体験牧場」。摩周湖、屈斜路湖、硫黄山など北海道を代表する観光地が間近にあります。飼育頭数120頭の酪農を経営しながら、絶好のロケーションを活かして酪農体験、バター作りやアイスクリーム作りなど体験メニューを提供し、「牛のおっぱいミルク」やソフトクリームなどを販売。

夏季シーズンには多くの観光客が訪れ、大自然の中での体験とおいしいミルクを楽しんでいます。「グリーンツーリズム」の活動にもいち早く取り組んできたオーナーのモットーは「楽しむことが一番!」。北海道酪農の魅力を感じられる牧場です。

住所 〒088-3222
 川上郡弟子屈町原野646-4
 TEL 015-482-5184
 FAX 015-482-1360
 e-mail wataiken@dream.ocn.ne.jp



●体験内容/牛乳・加工品販売、酪農体験、バター作り・アイスクリーム作り(冬期間の体験は休業)
<http://www.wataiken.co.jp/>



5 標茶町 ファームインビパーク
 大自然に守られて、
 心と体を癒す農家民宿です。

釧路市から50km北にある標茶町に、農家民宿「ファームインビパーク」があります。周辺の山々と草原を一望できる美しい景色は、日常にはない開放感をもたらしてくれます。この景色の中につくったコテージは、都市と農村との結びつきを深めるため、「農村の雰囲気を感じて味わってもらえるように」という

オーナーの願いを込めてつくったもの。木の香りがする快適なコテージに宿泊し、朝の乳搾りや子牛への哺乳、チーズやヨーグルト作りなどを体験できます。「ビパーク」とは、登山の途中で避難し休むこと。大自然の中にたたずむ農家民宿は、旅の途中で心と体を休めたい時にぴったりの場所です。

住所 〒088-2465
 川上郡標茶町虹別はぎの
 TEL 01548-8-2043
 FAX 01548-8-2177
 e-mail yoshida@sip.or.jp

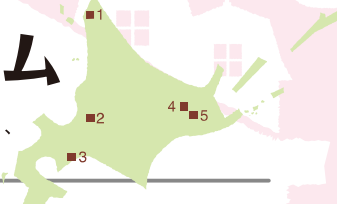


●体験内容/コテージ宿泊、酪農体験、乗馬体験、チーズ・ヨーグルト作りなど
<http://www.sip.or.jp/bivouac/>

たにまの登録数
 953農場
 ※2017年1月現在

ふれあいファーム

へいこう! 農業王国 北海道。農村へ出かけて、農業にふれてみませんか?



●ふれあいファームとは

北海道では、農作業体験など農業・農村とふれあう機会を多くのみなさんに提供する農場を「ふれあいファーム」として登録しています。

●情報はこちらから <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsi/hureaifarm/hureai-top.htm>

●ふれあいファーム訪問時のお願い

農園は農家の仕事の間であり、農作業がかなり忙しい時期もあります。事前の連絡・確認をお願いします。

- 1 稚内市 カヤニファーム
- 2 岩見沢市 井上農園
- 3 白老町 天野ファミリーファーム
- 4 弟子屈町 渡辺体験牧場
- 5 標茶町 ファームインビパーク



1 稚内市 カヤニファーム
 元気いっぱいの鶏たちと暮らす
 最北のたまご屋です。

最北稚内で暮らす元気いっぱいの鶏たちから、昔ながらの味わいの卵が毎日産まれています。平飼い、無添加、北海道産100%の飼料を与え、のびやかにストレスなく健康的に生活できるような心がけています。特に宗谷近海の鮭や利尻昆布を与えることで、風味豊かなコクと旨味、高い抗酸化作用などを

持つ栄養素「アスタキサンチン」を含んでいることが特徴です。また、ファーム内では子どものための自然学校も主宰していますので、ぜひ遊びにきてください。

住所 〒098-4581
 稚内市大字抜海村
 上勇知原野1099-4
 TEL 0162-73-9900
 FAX 0162-73-9900



●体験内容/卵の販売、農場見学、子ども・親子向け自然体験(要事前連絡)
<http://ameblo.jp/saihokunikurasu>



2 岩見沢市 井上農園
 安心・安全なおいしさ、
 季節ごとの体験が楽しめます。

岩見沢市内の幾春別川が流れる田園地域に「井上農園」があります。井上農園の農産物・加工品は、消費者のみなさんに安心して食べていただけるように、農薬・化学肥料・添加物に頼らないことを基本にしています。春は花と野菜の苗の販売、夏はトマト・きゅうりなどの夏野菜やブルーベリーの収穫、冬は

こうじ作りやみそ作りの体験など、一年を通して楽しんでもいただけます。安心・安全なおいしい農産物とともに、おだやかな時間をぜひどうぞ。

住所 〒068-0057
 岩見沢市北本町東
 10丁目6-10
 TEL 0126-22-4166
 FAX 0126-22-4166



●体験内容/花と野菜の苗販売(5月~7月)、夏野菜などの収穫(7月~10月)、こうじとみそ作り(12月~3月)